

スーパーのハローズ

生活困窮者に食品を提供しているNPO法人「ドーバンクとくしま（FBとくしま、徳島市）」と、スーパーのハローズ（本部・岡山县）が連携し、売れ残った食品をほぼ毎日、直接県内の福祉施設に無料で提供している。食べられるのに廃棄される「食品ロス」の削減と施設の食費軽減につながることから、FBとくしまは他のスーパーにも協力を呼び掛けている。

売れ残り食品福祉施設へ

できる利点もある。

里親として3人の子どもを養育するファミリー・ホーム高橋（阿南市下大野町太平）は、小松島市の江田店から週5日提供を受けている。運営する高橋芳子さん（69）は「食べ盛りなので乳製品や麺類を

F Bとくしまには他

を提供しており、現在は全店で月計4♪にならる。太田光一商品管理室長は「食品ロスの削減はもちろん、福祉施設の皆さんに喜んでもらえるし、店のP Rにもなる」と言う。

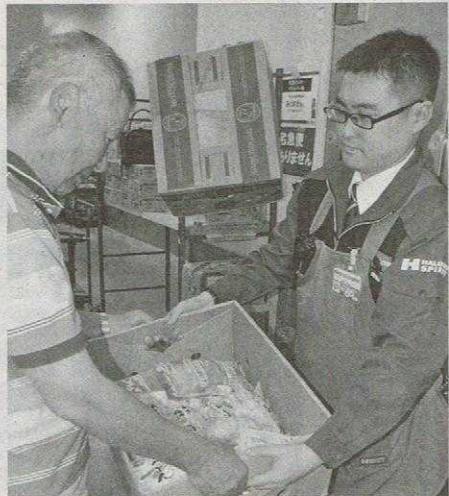
を提供しており、現在は全店で月計4ヶ所になると。太田光一商品管理室長は「食品ロスの削減はもちろん、福祉施設の皆さんに喜んでもらえる」と言う。

頂けてありがたい。経費面で助かる」と感謝する。の登録団体からも「食品の提供を受けたい」ない。清田麻利子理事との申し入れがある長は「売れなくなつた」との申しことけでは十分に行き渡らぬ県内企画お願いしている。

の登録団体からも「食けでは十分に行き渡らぬ県内企業にも支援を
品の提供を受けたい」ない。清田麻利子理事 お願いしたい」と話し
との申し入れがある 長は「売れなくなつた ている。
が、ハローズの5店だ 食品を有効活用するた
(新居和人)

県内5店 無料提供 口ス削減へ有効活用

県内5店
無料提供



ハローズの従業員(右から)食品を受け取る福祉
貢献の里山田

FBとくしま 運営ボランティア不足

17年度は51団体と、3年で4倍に増えた。
一方、企業や個人から施設側に届いた食品は14年度5・5ト、17年度10トと2倍弱の増加にとどまっている。食品は常に不足しており、缶詰や即席麺、レトルト品はすぐになくなってしまう。

人ほど必要で、事務局は協力者を探している。食品を提供してくれる店舗や運営団体・個人も募っている。

問い合わせは事務局（電
088（679）1919）。

（新居和人）

ラブルを防ぐため、食品の配布は登録団体に限定して、付箱を確認に行く時間も少ない。14年度の13団体からないという。

ニーズの高まりに反し活動を支えるボランティアが不足しており、安定した事業運営の足かせになつてゐる。職員1人とボランティア1人しかいない。定期的に食品を提供している8社を回り週2回～月2回しか行け

NPO法人フードバンク とくしまは2013年8月 に、スーパーなどに取りに に発足。登録した福祉施設 通じて食品を配っている。 F B事務局には協力団体の 食品が行き届かない理由 がある。徳島市昭和町3の

の5店だ 食品を有効活用するた
(新居和人)